

広報きたやま

Public Relations

Kitayama

2018

No.239


7



あいべ

知っていますか

2





筏下り 開航 40 周年

5月3日「観光筏下り」の開航式が音乗で行われました。観光筏下りが1979年に始まってから今年で40周年を迎えました。40周年を迎え村長からは「筏師の技術と伝統を守り、多くの人に北山村に訪れてもらい、またそれを宣伝してほしい」と語りました。またこの日は約130名の方が筏に乗船しました。また40周年を記念した特別便が運航されました。特別便は通常約70分のコースを約2時間かけて下るコースです。途中で筏を停泊させて、筏の上または河原で弁当を食べたり、筏師が岩壁ギリギリに筏を寄せて岩壁に咲く花を写真撮影させてくれるサービス等もありました。



第3回 じゃばらカップ

第3回じゃばらカップが6月30日と7月1日の2日間にわたって開催されました。今年は第73回国民体育大会近畿ブロック大会も同時に開催され、例年に比べてレベルの高い大会となりました。じゃばらカップには、紀の国わかやま国体で活躍された伊藤由佳選手も出場し、国体近畿ブロックのスラローム競技では和歌山県代表として、役場の小林賢司(写真一番左)が出場し奮闘したが、国体への切符はつかめませんでした。また、30日の夜に行われた懇親会の時には熊野川出身のシンガーソングライターの丸石輝正さんが下尾井のおくところ公園において熱唱していただき、見に来た人を魅了していました。

6/30
7/1



シニアエクササイズ



社会福祉協議会においてピーアアップ新宮の杉浦先生をお呼びしてシニアエクササイズが開催されました。

最初は簡単なストレッチから始まり、途中からは少し複雑な動きも混ぜながら行い、参加者の皆様も苦戦しておりました。でも杉浦先生によると簡単にできる動きより、難しい動きを出来なくてもいいので考えながら体を動かすことに、より頭も動きより効率の良いストレッチになるとのことです。

7/20



じゃばらアイス試食会

山梨県笛吹市の地域活性化協議会と協力して、笛吹市の富士ヶ峰牛乳とじゃばらのコラボ商品「じゃばらソフトクリーム」の試食会がおくところ温泉前駐車場で行われました。商品開発はテレビ番組「TVチャンピオン」で優勝経験もある「ケーキハウスミサワ」の三澤和久さんに作っていただきました。さっぱりしたソフトクリームにじゃばらソースのほろ苦さがマッチして試食にきた村民の方たちもおおいそうにじゃばらソフトクリームを食べていました。

7/20
~ 22

県政報告会

仁坂吉伸和歌山県知事が来村し、村民会館において行政報告会が行われました。仁坂知事は和歌山県の人口減少について、このまま対策を講じなければ2060年には50万人程度にまで減少すると話しており、人口減少を防ぐために産業政策やインフラ等の整備で働く場を増やしたり、保育サービスの充実や子供の貧困対策など子育て環境の充実を図り、出生率を高めたりして社会減、自然減の抑制を図っていくとし、さらに高齢者の再就職の支援、地元を離れた人を呼び戻すことなどにも力をいれていくとお話しました。

6/1



避難訓練

社会福祉協議会において、夜間を想定した避難訓練が実施されました。現在、社会福祉協議会と診療所の職員が宿直者2名体制で夜間は備えております。新宮消防の方に来ていただきアドバイスをもらいながら、消防への通報や入居者の避難等を行いました。今回の訓練では夜間の連絡体制について、電話連絡ではなくLINEを使った一斉送信機能を使うことに、より時間の短縮ができました。また、訓練終了後には消火器の使い方について新宮消防の方からご指導を受けました。

4/23

北山村の子どもたち

芋ほり体験



みんなで大量の芋を掘り起こしました。土の中の虫と一緒に掘り起こして捕まえたりもしました。



梅シロップ作り



和歌山県名産の梅を使った梅シロップをつくりました。出来上がった梅シロップを自分たちで飲みました。

キャンプ

熊野少年自然の家でキャンプをしました。アスレチックで遊んだり、体育館でキンボールをしたり、カレーを作ったりしてキャンプを堪能しました。



租税教室

新宮納税協会の方に税金について教えてもらいました。税金のクイズやふるさと納税などについて楽しく学びました。



親子体操教室



ピーアップ新宮の杉浦先生をお呼びして親子で楽しく体操をしました。子どもだけではなく、お母さんも一緒に頑張って動きました



夕涼み会

みんなでゲームをしたり、子どもたちが踊ったりしました。カレーもみんなで美味しくいただきました。



卓球大会

卓球の東牟婁大会が行われました、北山村は個人・団体ともに県大会に出場し、県大会においても個人・団体とも健闘しました。



新制度・制度改正のお知らせ



■ 小規模事業者持続化補助金

北山村で事業を営む方を対象に、事業の拡大・継続を図るための設備投資等に対し一部補助します。

対象者：北山村商工会員

補助額：補助対象経費に対し2分の1（最大50万円まで）

補助対象：パンフレット・ホームページの多言語化、客用トイレの洋式化など

■ 住宅取得事業補助金の改正

村内で住宅を購入・新築した場合の補助額が一部変更になりました。

対象者：村内で住宅を購入・新築する方

補助額：対象経費の10分の1（最大200万円まで）
小学生以下の子ども1人当たりの加算

（変更前）100万円

（変更後）25万円

■ 老朽危険空き家解体補助金

村内にある老朽化してきている空き家の解体費用を一部補助します。

対象者：村内に空き家を所有している方

補助額：解体費用の2分の1（最大50万円まで）

■ 空き家改修事業補助金の改正

村内で空き家を賃貸して改修する場合の補助額が一部変更になりました。

対象者：村内で住宅を借りる方・貸す方

補助額：対象経費の2分の1

（変更前）（最大200万円まで）

（変更後）（最大100万円まで）

小学生以下の子ども1人当たりの加算

（変更前）100万円

（変更後）25万円

※いずれの制度も利用に際しては条件があります。詳しくは政策推進室までお問合せ下さい。

後期高齢者医療制度に加入されているみなさまへ

8月下旬から9月上旬にかけ

ジェネリック医療品使用促進のお知らせを送付しています

患者負担の軽減や医療保険財政の改善には、ジェネリック医薬品の普及が重要です。

この機会に、ジェネリック医薬品の使用をご検討下さい。



このお知らせは、現在処方を受けているお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に自己負担が軽減できることをお伝えするもので、切り替えを強制するものではありません。

※お薬によって、ジェネリック医薬品への切り替えができない場合もあります。

ジェネリック医薬品への切り替えを希望される方は、かかりつけの医師又は薬剤師にご相談ください。

お問合せ先

後発医薬品利用差額通知コールセンター フリーダイヤル 0120-53-0006（通話無料）

和歌山県後期高齢者医療広域事務所 和歌山市吹上2丁目1番22号 日赤会館9階
電話 073-428-6688



フリーダイヤルのお知らせ

～「新宮川水系各ダム情報」並びに「十津川第二・小森発電所運転予定」～

新宮川水系の各ダム（池原ダム・七色ダム・小森ダム及び風屋ダム・二津野ダム）の放流状況並びに、発電所（十津川第二・小森発電所）の運転予定につきましては、24時間フリーダイヤル（無料）にてお知らせしています。お気軽にご利用ください。

また、フリーダイヤルはあらかじめ電話機に登録していただきますと便利にご利用できます。

なお、フリーダイヤルが集中しますと、かかりにくくなることがありますので、その場合は、しばらくしてからお掛け直し下さい。

新宮川水系ダム情報

：0120-302-425

十津川第二・小森発電所運転予定

：0120-201-914

（携帯電話・スマートホンからも聞くことができます。）

情報内容

新宮川水系各ダム情報：池原ダム・七色ダム・小森ダム及び風屋ダム・二津野ダム放流状況

十津川第二・小森発電所運転予定：発電予定と発電放流量

あなたの職場は大丈夫？

和歌山労働局では、労働トラブル等の相談窓口を設置しています！

平成29年1月1日から、妊娠・出産、育児休業等に関するハラスメントについては、防止措置を講じることが**事業主に義務付けられています！**（男女雇用機会均等法、育児・介護休業法）



上司に妊娠を報告したら「他の人を雇うので早めに辞めてもらうしかない」と言われた。

育児短時間勤務をしていたら同僚から「あなたが早く帰るせいで、まわりは迷惑してる」と何度も言われ、精神的に非常に苦痛を感じている。

このような、上司や同僚からのハラスメントを受けてお悩みの方、一人で悩まずに和歌山労働局雇用環境・均等室にお気軽にご相談下さい。

セクハラや妊娠・出産、育児や介護を理由とした不利益取扱いなどに関する相談対応をはじめ、妊娠・出産をしながら働く女性のためのさまざまな制度もご紹介します！

お問合せ先

和歌山県労働局 雇用環境・均等室

〒640-8581 和歌山市黒田2-3-3 和歌山労働局4階 TEL：073-488-1170

（相談受付時間：平日8時30分～17時15分）

国年通信 国民年金保険料は納付期限までに納めましょう

平成30年4月分から平成31年3月分までの国民年金保険料は、月額16,340円です。

保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができます。また、クレジットカードによる納付やインターネット等を利用した納付、そして便利でお得な口座振替もあります。

日本年金機構では、国民年金保険料を納付期限までに納めていただけない方に対して、電話、書面、面談により早期に納めていただくよう案内をおこなっております。

未納のまま放置されると、強制徴収の手続きによって督促を行い、指定された期限までに納付がない場合は、延滞金が課せられるだけではなく、※**納付義務のある方**の財産を差し押さえることがありますので、早めの納付をお願いします。

所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、免除される制度や猶予される制度がありますので、役場の国民年金窓口へご相談するようお願いします。
※納付義務者は被保険者本人、連帯して納付する義務を負う配偶者及び世帯主になります。



国民年金のご相談・手続き等については、役場または年金事務所までお問合せ下さい



採用試験に関するお知らせ

試験日程

試験名		試験案内申込書の配布期間	受付期間	試験日程			
				第1次試験		第2次試験日	第3次試験日
				試験日	試験地		
第2回警察官A	男性 女性	6月22日(金)	7月2日(月) ～8月14日(火)	9月16日(日)	和歌山市 田辺市	10月下旬	11月中旬
警察官B	男性 女性						
Ⅲ種	警察 事務職	7月17日(火)	8月7日(火) ～8月24日(金)	9月23日(日)	和歌山市 田辺市 新宮市	10月中旬 ～下旬	

受験資格

試験名		受験資格
警察官A	男性 女性	昭和61年4月2日以降に生まれた人で、大学（短期大学を除く）を卒業した人又は平成31年3月末日までに卒業見込みの人
警察官B	男性 女性	昭和61年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人で、上記の「警察官A」の受験資格に該当しない人
Ⅲ種	警察 事務職	平成6年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人（大学（短期大学を除く）における在学期間が2年を超える人を除く）

お問合せ先：新宮警察署警務課

TEL：0735-21-0110



不法投棄について

北山村七色にてコンクリート類の不法投棄が確認されております。その他にも、たびたび家電等の不法投棄があるため広報にてお知らせいたします。

不法投棄は、廃棄物処理法違反となり、未遂も含め次のような罰則が規程されておりますので、速やかにお引上げいただきますようお願い致します。



不法投棄の罰則

- 個人の場合
5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金またはその両方の罰
- 法人の場合
3億円以下の罰金刑



心あたりありましたら、役場までご連絡お願いいたします。

介護保険料月額基準額が変わります

～月額基準額が4,400円から5,200円に改定します。～

今後3年間に必要とされる介護サービス量の見込みを立て、介護サービスの提供に必要な費用を算定した結果、2018年4月からの介護保険料月額基準額を4,400円から5,200円に改定します。

要介護認定者の増加に伴い介護サービス利用量も増えていきます。介護サービスの提供に必要なとされる費用が年々増加しているため、介護保険料月額基準額も増額となります。逆に、村全体の介護サービス利用量が減少すれば介護保険料月額基準額が減額となります。

介護保険制度は、社会全体で支え合う制度です。介護保険給付に必要な費用の半分を公費（国、和歌山県、北山村）で負担し、残る半分为保険料で負担します。





広報きたやま
2018 NO.239

7月号

■発行 北山村役場 総務課
〒647-1603 和歌山県東牟婁郡北山村大沼42番地
TEL: 0735-49-2331 FAX: 0735-49-2207

村の人口
7月1日現在

人口 448人(+3) 男性 201人(+3)
世帯数 269戸(+2) 女性 247人(±0)
高齢化率 46.0% ※ () 内は前号比



北山川観光筏下り開航40周年記念 北山村カレンダーフォトコンテスト

北山村の魅力ある自然や、人々の営みを記録し、また広く周知することで、郷土愛の醸成を図りつつ、認知度・イメージの向上を図ります。また、入賞作品を中心に広報媒体等での活用を目的とします。また、応募いただいた作品を中心に北山村のカレンダーを作成すつ予定です。

テーマ 「北山村の四季折々」

北山村の春夏秋冬、四季折々の自然や人々の営み、伝統的な行事など、あなたの思う北山村の四季を感じさせる写真を募集します。

テーマ例) 観光筏下りはもちろん、じゃばらの収穫や盆踊り、ホテル・雲海・動植物、人々の交流など1年を通じた北山村の魅力が感じられる写真

賞品

全応募作品からグランプリを1作品、作品の撮影時期に応じた賞を計12作品、入賞を15作品程度選出します。

グランプリ おくとり温泉宿泊ペアチケット・観光筏下り乗船ペアチケット
じゃばら商品詰め合わせ

春・夏・秋・冬賞 各3名 観光筏下りペアチケット・じゃばら商品詰め合わせ

入賞 15名程度 じゃばら商品詰め合わせ

詳しくは北山村観光ホームページまで

<https://www.vill.kitayama.wakayama.jp/kanko/>

広報担当の枠

あいべ元気イキイキポイントが始まって

まず、今回7月号をうたいながら、発行が8月に遅れてしまいました。広報を楽しみにしていただいている人がいれば大変お待たせいたしました。

健康ポイント制度が始まって役場でも健康についての会話が増えてきたような気がします。「何キ口痩せた」や「ランニングははじめました」などなど、私も気持ち的には頑張る意欲はありますが、なかなか行動に移せず、周りの人にも太ったね！と言われることが増えました。とりあえずはビールの飲む数を減らすところから少しずつ頑張っていきたいと思います。

(今年は2週間に1回のペースでバーベキューがしたい 広報担当 橋爪 大希)

昨年買ったばかりの浴衣をタンスから引っ張り出してきました。今年も着られるかなと、浴衣を眺めながら思わずニコニコしてしまいます。そんな夏、といえば思い出すのは、北山村で初めて過ごした時のことです。住み始めて1年ばかりですが、大学生のときに、観光センターで筏の受付係をしていたことがあり、初めて村を訪れたのは4年ほど前のことになります(時の流れって残酷!)。北山村のように、観光業がなりわいとなっている場所を見てみたくて、大学生の夏20日間、村で過ごしました。その裏では当時、自分の所属していた研究室で、同じ時期にハワイで研究合宿が行われることになっていました。さあどっちに行くか!! 相当迷いました。ただ、こんな機会がなければ北山村にはいけないだろうという珍しさから北山村での20日間を選択したのです(笑) もし、ハワイに行っていたら、ハワイの僻地にいたかもしれませんね。

(今年の盆踊りでは音頭取りデビューする予定の 広報副担当 荒井恵理)